



かがや 輝き

地域の強固な
サポートづくりを
目指して



桂泉会リハビリセンター部
今年度目標

「最新の情報収集やリハ機器等の充実を図り、
先進的なリハビリテーションを実施し、皆様のニーズに応じていきます」

新年のご挨拶

社会福祉法人 桂泉会 理事長 佐藤義輝

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスによる感染が世界規模で拡大し、経済活動の制限などもあり、多くの人々が生命の危機や生活の困窮により、多大な影響を受けた1年となりました。日本でも昨年末には、全国で1日に4,500人を超える感染者数となり、未だに猛威を振るっています。当法人でも、感染拡大の対策として施設内の消毒や面会の制限など、普段とは異なる対応が必要となり、皆様には大変なご迷惑やご不便をおかけいたしました。現在も通常の生活を過ごすことが難しい状況ではありますが、皆様の安心と安全な生活の確保を第一とし、職員一同が今一度しっかりとした感染対策を心掛けながら、サービスの提供に努めてまいります。



今年は法人設立から40周年を迎えます。これもひとえに利用者様・ご家族様、地域の皆様のご支援があつての事と感謝申し上げます。さらなる地域貢献として、共生型施設「きらり」において、児童福祉のサービスである放課後等デイサービスを2月より開始いたします。足元をしっかりと固め、新たなチャレンジに取り組むことで、皆様に必要とされる法人でありたいと思っています。

1日も早く通常の生活が戻ることを強く祈念し、新年のご挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年も  社会福祉法人 桂泉会 を宜しくお願い致します

- 桂泉会 法人本部
- 障がい者支援施設 太陽荘
- 特別養護老人ホーム 浄心園
- 障がい者支援施設 みやび
- 特別養護老人ホーム くつろぎの家
- 生活介護事業所 太陽の里
- 軽費老人ホーム ケアハウスまべち川
- 多機能型事業所 まんてんの里
- ケアセンター いずみ
- グループホーム ほたるの郷
- つくし 相談支援事業所
- 共生型事業所 きらり

座り方の調整方法について

未だ終息する気配をみせない新型コロナウイルス。岩手県内でも各地で感染者が発生しています。感染の恐怖や今年の厳しい寒さにより、外に出る機会も減少し家の中で座りっぱなしの方も多いのでは？長時間同じ姿勢でいると、身体の筋肉が固まり、血行が悪くなります。適度にお尻や体の位置を変えながら座ることが大切です。背もたれを使用して体を動かし体に刺激を入れましょう。今回は座る姿勢の整え方について、ご紹介したいと思います。

*** 極端な姿勢の変化は逆に体の負担を増やすことにもなり、椅子からの転落などの危険性も高くなるので、注意が必要です。**



①いつもの姿勢で長時間すわっていると体が硬くなります。



②時には深くすわったり、浅くすわり姿勢に変化をつけましょう。



③お尻の下にタオルなどを差し込むと骨盤が前傾します。



すわっている時は、足の裏をしっかりと着地させ、安定させましょう。足の裏全体がしっかりと床についていると、

- ① 上体が起きやすくなる
- ② 背筋が伸びる
- ③ 足が自然に踏ん張る

という効果が期待できます。

足が浮いていると不安定になります。足が着かない時は、台などを設置しましょう。



車いすの場合

車いすの場合も同様に、移動せずに止まっている時などに、フットサポートを上げて足を地面につけることで、①～③の効果が得られます。
* 足台がないと姿勢が不安定になる方は、やめておきましょう。

編集後記

感染を予防しながら日常生活を送る新たなライフスタイルが求められています。「マスク着用」「手指消毒」「ソーシャルディスタンス」「3密回避」など、毎日緊張の繰り返しで、ストレスがたまる日々と思われれます。行先の見えない中ではありますが、今回の事で、何よりも「健康が第1」と実感された方は多いのではないのでしょうか。危機を乗り越えた先には新しい未来がまっています。前に向かって進む気持ちはウシなわずに今年1年も頑張らしましょう！！

【A&A】



当法人では、一緒に働くリハビリの仲間を募集しています！！
施設見学も随時、対応しています。詳しくは下記の担当者までご連絡ください。

当誌「輝き」に関するお問合せ

障がい者支援施設 太陽荘 TEL 0195-47-2316 FAX 0195-47-2441 担当者：浅沼・赤羽・中里